

協働評価シート

事業名		みんなで守ろう 新居浜市の救急医療体制		実施年度	平成28年度
部 局		福祉部	課 所	保健センター	
団体等の名称		一般社団法人新居浜市医師会			
評価項目				評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	A	
			市	A	
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>救急医療体制を維持するためのDVDについて、消防の救急出場状況や急患センターのモニターペイシエントの様子等を市民にわかりやすく15分程度にまとめることができた。市内の医療機関、薬局、歯科医院、新居浜市消防等へDVDとポスターを配布し、院内での放映や希望者へのDVDの貸出しを行うことで啓発できると考える。また、医師会のホームページにもアップし、急患センターで放映することにより啓発できると考える。医師会として、市民の安全と健康を守り維持することに、市や関係各所と協力して取り組みたい。</p>
<p>市</p>	<p>医療資源に限りがあることや一次救急である急患センターの現状とそこでのルールを守らない不適正な受診の例をDVDの内容に盛り込むことができたが、二次救急の現状については、DVDの長さの関係で救急車の不適正利用に関する内容のみとなり、医療現場の現状についてまで触れることができなかった。しかし、1月に開催したDVDの視聴会で実施したアンケートでは「わかりやすかった」「印象に残った」「本市の現状がよくわかった」などの好意的な意見が多く、映像によることで啓発効果を高めることができるという狙いは達成できたと考える。行政だけでなく医療者側からも救急医療の適正利用を呼びかけることで、協働事業としての効果を高めることができることから、DVDをより多くの人に視聴してもらう機会をいかにして継続的に設けるかが、今後の課題となる。</p>
<p>相互協議 結 果</p>	<p>協働の効果を継続的に高めるために、DVDの無料貸出し以外にDVDを活用する具体的方法について、協議した。</p> <p>行政である保健センターの取組みとしては、保健センターが実施する乳幼児健診、医師講演会、出前講座等あらゆる年代の市民を対象とした事業に併設して、DVD視聴の機会を設けることとした。</p> <p>医療である医師会の取組みとしては、市の委託事業である1日人間ドックの待合や6月11日開催の「2017年愛媛お笑い健康ライブ」会場での放映の他、医師会と地域住民で構成される地域ケアネットワーク推進協議会においてDVD貸出しに関する周知を行う。</p> <p>また、これらの取組みを確実に実行し成果を検証するため、実施回数及び視聴者数、視聴者の感想等を集積していく。</p>